

疾患別

全国実力医師
シリーズ

医療評価ガイド取材班

名
医
1
0
9
人

全
国

予
防

最
新
治
療
&

脳

疾
患

疾患別に
実力医師を選び抜く!

この1冊で気になる症状・検査・
標準治療・治療トピックがわかる

角川SSコミュニケーションズ

鹿児島大学附属病院 脳神経外科



有田 和徳 教授

鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘8
丁目35-1
TEL: 099-275-5828
最寄りの駅/JR鹿児島中
央駅からバス、大学病院前
下車、徒歩約1分

有田和徳教授

Staff

時村洋 (脳血管障害全般)・平野宏文 (悪性脳腫瘍、内視鏡手術)・八代一孝 (良性脳腫瘍、定位脳手術)・花谷亮典 (脳腫瘍、てんかん、三叉神経痛)・永山哲也 (脳血管障害・脳血管内手術)

外来診療日

月・火・木・金曜 (9:00~12:00)
救急は随時、セカンドオピニオン対応

Profile

ありた・かずのり。1981年、広島大学医学部卒。94年3~5月、UCSF (サンフランシスコ)。2003年6~10月、モントリオール神経研究所。03年11月~04年3月、デューク大学。05年10月、鹿児島大学脳神経外科教授。

実績・成績

2007年度の脳腫瘍手術件数は172件 (九州で1位)。08年度の脳腫瘍手術件数は193件 (下垂体腫瘍、聴神経腫瘍、髄膜腫、グリオーマ、小児脳腫瘍など)。経蝶形骨洞手術は54件。血管内手術は大学内外で122件。有田教授のこれまでの脳腫瘍の手術経験総数は約1100件。



治療

脳腫瘍手術は九州トップ

有田教授が特に専門としているのは脳腫瘍 (下垂体腺腫、グリオーマ、聴神経腫瘍、髄膜腫、眼窩腫瘍、小児脳腫瘍、松果体腫瘍など) で、手術では患者のQOLを重視し、ニューロナビゲーション下手術、鍵穴 (キーホール) 手術、内視鏡下手術を駆使して、低侵襲治療を追求している。間脳下垂体部腫瘍では、国内でいち早く経鼻経蝶形骨洞手術 (1990年) と内視鏡 (97年) を導入して、高い安全性と治癒率を達成している。

これまでの経蝶形骨洞手術総数は約650件。グリオーマの治療では、FDG-PET、メチオニン-PETの所見を参考に、術中ナビゲーションを使用しながら腫瘍摘出度を高めている。患者にとって生涯にわたる大切な資料である術中ビデオ (DVD) は希望する患者すべてに提供している。

手術後はガンマナイフやサイバーナイフを駆使して、患者の長期的なQOLを高める努力をする。初期治療後も、患者が安心して暮らせるように5年、10年という長期の経過観察を心がけている。

また、同教授は、てんかん、痛み、けいれんなどを外科的に治療する機能脳神経外科でも豊富な経験を有している。薬でコントロールでき

ないてんかんには、焦点切除や脳梁離断を行う。側頭葉てんかんに対する焦点切除例では約8割で、手術後、大きな発作が消失。三叉神経痛や顔面痙攣では小開頭による神経血管減圧手術を約120件行い、多くの患者に福音をもたらしている。

脳血管障害部門では、時村講師が主として開頭手術を、永山講師が脳血管内手術を担当。時村講師は無剃毛と小開頭による手術で、患者の早期社会復帰を目指している。永山講師は最近3年間で約300件の脳血管内手術を行っており、頸動脈ステントは180件を実施し、恒久的合併症の発生率は0.6%と高い安全性を確立している。脳動脈瘤のコイル塞栓術は年間30~40例を実施。動脈瘤の形状や場所によって開頭クリッピング術も行い、最も適切な治療法を選択するようにしている。

2009年10月からは、全国でも数少ない手術室内MRIが稼働する。これをイメージガイド手術室と呼んでいるが、ニューロナビゲーションや電気生理モニタリングと組み合わせ、より安全で精度の高い手術が可能になり、特に脳腫瘍の摘出率の向上が期待される。